

はちおうじししょうがいゆちいきじりつしえんきょうぎかい
八王子市障害者地域自立支援協議会
へいせい ねん どだい かいそうかい ぜんたいかい かいぎろく
平成25年度第1回総会（全体会）会議録

（開催日時） 平成25年6月3日（月） 10:00～12:00

（開催場所） 市役所本庁舎事務棟8階 802会議室

（出席者）

・委員17名出席

中西 正司、加藤 保武、多田 靖史、田丸 俊彦、大窪 卓真、大須賀 裕子
土井 幸仁、山本 誠、高橋 義人、芝 敏子、崎田 京子、風間 美代子
上田 広美、松尾 隆司、吉田 真理子、中西 好子、氏平 啓子

・障害者当事者委員支援者（知的サポーター）1名出席

光岡 芳弘

（欠席者） 9名欠席

（事務局） 豊田高齢者・障害者担当部長、古川障害者福祉課長、松田主査、櫻田主査、井上主査、清水主査、芝田主事

開会

・豊田高齢者・障害者担当部長挨拶

豊田) 高齢者施策、民生委員関係の地域福祉の経験はあるが、障害者施策は初めてであり、様々な施設の方や障害者の方々と話をして、障害者福祉は奥が深いと感じている。古川も障害者福祉は初めてであり、施設見学やこのような会議等を通じて、障害者が抱える課題について理解を深めていきたい。本日は活発な意見を出していただき、市がどのようなことができるのか考えていきたい。

古川障害者福祉課長) それでは、中西会長、議事進行をよろしくお願いします。

・以降は中西会長が進行

中西) まずは、出席状況の確認をお願いします。

井上) (出欠状況の報告)

中西) 新部長・新課長を迎え、本日はさらに深めた議論をしていきたいと思う。委員で交代した方はいますか。

井上) 八王子特別支援学校の坂本先生が3月31日付で定年退職され、後任に4月1日付で吉田校長が着任されましたので、委員に任命させていただきました。

中西) それでは、吉田校長、ご挨拶をお願いします。

吉田) 前任は北区王子の特別支援学校であった。地域とともに学校があり、環境が違う中からのスタートである。多くの子どもたちが卒業し、地域に出ていきますのでよろしくをお願いします。

井上) (資料説明)

中西) 施設入所人数は、削減・現状維持を図るということですね。

井上) そのとおりです。

中西) 就労のほうは随分と数が多いようだが、「障害」が拡大解釈されたことによるものか。

井上) 法定雇用率が従来より高く設定されたことが一つの契機となったと分析している。

土井) 平成24年度の施設入所者数の目標値から実績数への減少は、移行が進んだという理解でよいか。

また、通常は入所待機者があり、今回はたまたま減少したということが言えるため、さらなる減少、現状維持を図る上では平成25年度の目標値は平成24年度の実績数とするべきではないか。

(資料の表現方法についての指摘)

井上) 入所者数の減少については、グループホーム・ケアホーム等への地域移行者と新たな入所者との差となる。入ってくる方のほうが少なかった。

目標値については、障害福祉計画で定めたものが達成されているかを計るものであるが、二次的にはそのように減少、現状維持ができるように施策を進めていく。

中西) 入ってくる方が減ったことについて分析はしているのか。

井上) 今回は減少したが、減少傾向にあるとの認識は持っていない。一定数の入所待機者がいると考えている。

芝) 八王子市の入所待機者のデータはあるのか。施設側としては相当数の待機者がいると把握しているが、市側はどの程度の数値と考えているか。

古川) 申し訳ないが、現在は数値を持ち合わせていない。次回のモニタリングの際に検討するというのでよろしいか。

芝) はい。

土居) 退所された方の数には、地域移行した方だけでなくお亡くなりになられた方も含まれる。単純な数値の足し引きだけでなく、実態の分析が必要ではないか。

また、新たに入所された方について、入所の経緯を報告してもらえると今後の地域移行への対策に活かせると思う。

中西) 他の委員の方で質問は何かありますか。

夢田) 数字の足し引きだけでなく、実態がわからないと分析のしようがない。

中西) そのことについて、地域移行部会と市と協同して詳しい内容について明らかにしてほしい。

芝) 入所者が都外施設、都内施設のどちらかに入ったかもわかるデータがほしい。

中西) 都外施設へのデータはありますか。

井上) あります。

中西) 割合としてはどちらが多いか。都外のほうが多いですか。

井上) おそらく半々でしょう。

中西) 就労については何か質問ありますか。

(資料内容「就労定着者」の定義についての確認)

中西) 各年度までの定着者数の合計とは別に、参考として長期継続で就労している人数のデータもほしい。

精神については何かありますか。

山本) どのくらいの期間入院しているかを把握するのは難しい。

また、高齢の精神障害者を地域のケアホーム・グループホームで受け入れるのは現実的に難しい。退院者数だけでなく、こういった方の受け皿もしっかり作るべき。

風間) 実際、高齢者の障害者は転倒等が多く、段差の解消等設備面においても十分な受入れ先が少ない。

芝) 数値目標のないモニタリングをどう反映していくのか。また、どう共有していくのか。

古川) 地域生活移行については、市で把握している実態を次回報告させていただき、それを踏まえて検証していく方法がある。

芝) 地域移行継続部会で病院からの退院促進に関するワーキンググループも今年度立ち上がり、昨年春八王子市の保健所と市の担当者も入った病院からの個別支援会議もある。これらの総括もあったほうが共有が図れると思う。

中西) 精神病院も知的障害者、高齢の精神障害者等、施設の状況も変わってきている中、地域でどこまでやっていくのかを決めていかないと八王子の戦略がたたない。グループホームをどこまで作るのか、高齢者と障害者施策の連携等、根本的な考えを出さないと先に進めない。保健所の職員も呼んで話し合いの場を作るのもいいかもしれない。

次の資料説明をお願いします。

井上) (資料説明)

中西) 資料の説明を踏まえて、何か質問ありますか。

地域定着支援、地域移行支援の目標値はどのように設定しているのか。

井上) 昨年の障害福祉計画を作るにあたって、東京都から各市町村に数値が示されている。

サービス初年度ということで市独自で数値を設定するのは難しい。

崎田) 計画相談支援について、全ての障害福祉サービス及び地域相談支援の利用者が対象となる数値目標に対し、事業所側としては何をしたらいいかわからない状態である。

説明会の開催や文書での通知を行なう予定はあるのか。

井上) 正直なところ、市としても今後どのように対象者を増やしていくか頭を悩ましているところである。計画相談が必要な方を精査して、どう広げていくかを検討している段階である。

古川) (多摩地域の) 26市でも進んでいないのが現状である。ご質問の件については、課長会等を通して情報を共有しながら、方法を検討していきたい。

土居) (資料内容の確認)

大須賀) 市、事業者の認識がずれており、利用者も含め困惑する。定期的に話し合っていく場が必要である。

中西) 国の動向をみながら進めていく。事業者側としては、現実的ではない数値を国から求められていることには費用対効果等問題があると思うが、引き続き検討していく。

芝) 短期入所について、数値の裏にいる利用したくても利用できない方がたくさんいるわけで、潜在的な人数はもっと高い。このことを踏まえて、来年度以降の目標をたてるべきだ。短期入所を転々としている方もいるので分析が必要である。

中西) 次の資料の説明をお願いします。

井上) (資料説明。)

中西) 何か質問等ありますか。

土居) 移動支援について、利用制限があるため使いたくても使えない人がいる。地域生活支援事業になり、市町村によっては認めているところがあるので、今後は通勤・通学に利用できるようにしてほしい。

中西) 何か他に質問等ありますか。

なければ、平成25年度の事業計画についてですが、それぞれの部会長から、現在の状況を報告願います。まず、土居委員から、障害者権利擁護推進部会の状況について報告をお願いします。

土居・松尾) (状況報告等)

中西) 福祉基金の提案の件について、市側として何かありますか。

古川) 現在情報収集集中なので、次回以降にお願いしたい。

中西) 次に山本委員から、地域移行・継続支援部会の状況について報告をお願いします。

山本・芝・大須賀) (状況報告等)

中西) いままでのことで何か質問ありますか。

・各委員の感想等

中西) 事務局からは何かありますか。

井上) 特にありません。

・閉会